

大 阪 市 中 教 研 会 報

No. 137

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 藤 本 睦 子
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大 阪 市 立 田 辺 中 学 校
TEL 06-6692-0117

令和 3 年度 研究テーマ

「よりよい未来社会の創り手となる資質・能力の育成」

～ 学びの質を高めるカリキュラム・マネジメントを通して ～



急激に変化する時代のなかで 育むべき資質・能力とは

大阪市教育センター 首席指導主事 石 原 至 朗

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、昨年度に引き続き、「よりよい未来の創り手となる資質・能力の育成～学びの質を高めるカリキュラム・マネジメントを通して～」のテーマのもと、教育の今日的課題を踏まえた研究活動を推進され、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

昨年度から世界的に新型コロナウイルス感染症の流行が続き、只今は変異ウイルス感染が急拡大する中、学校現場の先生方におかれましては、感染拡大防止対策を最大限に講じながら、日々の教育活動を進めるにあたり、ご対応とご苦勞をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

令和 3 年 1 月の中央教育審議会の答申では、Society 5.0 の到来など、社会の在り方そのものが劇的に変わる社会状況を見据え、2020 年代を通じて実現をめざす学校教育が「令和の日本型学校教育」と名付けられ今後の教育課程の在り方について示されました。

その中では、学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、そのためには ICT も最大限活用しながら、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められるとされています。各校では、カリキュラム・マネジメントの取組を一層進め、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）を教科等の特性を生かし、教科横断的な視点から教育課程の編成を進められていることと思います。

大阪市教育センターでは、本年度、学習の基盤とな

る資質・能力である「言語能力育成モデルの研究」、「情報活用能力育成モデルの研究」、多様な子ども達の学びの充実や学びの保障を実現する「オンライン学習における効果的な授業モデルの研究」の 3 つの研究をスタートしました。

GIGA スクール構想によって、大阪市内のすべての小中学校に 1 人 1 台学習者用端末が整備され、今まで以上に児童生徒がインターネット等を利用し、多くの情報に触れる機会が増加しています。これらの情報を整理し効果的に活用するためには、まず、児童生徒に情報を的確に読み取ることでできる能力を身に付けさせることが必要です。そのためには、教科学習の主たる教材である教科書を含む多様なテキスト及びグラフや図表等の各種資料を適切に読み取る力をはじめとした「言語能力」や、読み取った情報が正しいかどうかを見極める能力、情報を取り扱うためのルール等の「情報活用能力」を、各教科等を通じて育成することが重要です。併せて、教員側も ICT 活用指導力の向上が求められており、中でも、オンラインを活用した学習指導については、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる学校休業等、緊急時における対応はもちろんのこと、不登校や病氣療養のため、登校したくてもできない児童生徒に対する学びの保障をすることも必須です。

個々の教師が養成段階に身に付けた知識・技能だけで教職生涯を過ごすのではなく、求められる知識・技能が変わっていくことを意識して、継続的に学び続けていくことができるよう、よりよい研究・研修を進めてまいります。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、確かな学力を身に付け、よりよい未来の創り手となる子どもたちの育成をお願いいたします。



「変化する社会で生き抜く力を 育成するために」

大阪市内中学校教育研究会

会 長 藤 本 睦 子 (田辺中学校)

会員の皆さまには、平素より大阪市内中学校教育研究会の活動にご尽力賜りありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

5月26日に今年度の全体会(文書開催)を行い、本部役員8名のご承認をいただき、令和3年度をスタートいたしました。また、各教科、各領域の研究部長やブロック委員長、副委員長、専門委員をお引き受けいただいた皆様に感謝申し上げます。本研究会は、昭和22年(1947年)に創設され、本市の中学校教育の推進のため活動を行い、74年目を迎えました。この間、諸先輩会員の皆様のご努力により多大な研究成果を残されています。今後も本研究会の活動が充実したものになるように、会員の皆様とともに研究活動の一層の充実・推進に尽力してまいりますので、ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、情報化やグローバル化といった急速な社会変化が進む予測困難な時代にあっても「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指した中学校学習指導要領は、今年度より全面実施となりました。また、学習指導要領等では、学校、家庭、地域の関係者が幅広く共有し活用できる「学びの地図」としての役割を果たすことができるよう、次の6点にわたってその枠組みを改善するとともに、各学校において教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現を目指すことなどが求められました。

- ①「何ができるようになるか」(育成を目指す資質・能力)
- ②「何を学ぶか」(教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成)
- ③「どのように学ぶか」(各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実)

- ④「子供一人ひとりの発達をどのように支援するか」(子供の発達を踏まえた指導)
- ⑤「何が身に付いたか」(学習評価の充実)
- ⑥「実施するために何が必要か」(学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策)

これらを踏まえ、この理念を実現すべく真摯に様々な取組が行われています。本研究会におきまして「よりよい未来社会の創り手となる資質・能力の育成—学びの質を高めるカリキュラム・マネジメントを通して—」を研究主題とし、学びの質を高めるための教育活動のあり方についての実践研究に取り組んでまいりました。

しかしながら、昨年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応により、教育活動の推進においてさまざまな制約が生じております。このような状況の中ではありますが、今年度は4ブロックになり初めてのブロック研究発表会を8月27日に予定し、ご準備をすすめていただきましたが、緊急事態宣言が継続されることになり、やむなく中止といたしました。ブロック研究発表会に向けてご尽力いただきました皆様には誠に申し訳ございませんでした。研究成果等を大阪市教育センターとの連携で『waku×2.com-bee』に掲載していただいたり、DVD等で発信していただいたことに厚く感謝申し上げます。

今後も新型コロナウイルス禍の影響で、研究発表会にも変更が生じる可能性もございます。例年通りの研究活動を進めることは難しい状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症への万全の対策を取りながら、私たちの研究とともに子どもたちの学びを決して止めないとの思いのもと、皆様とともに力を合わせて、研究活動を着実に歩み続けていきたいと存じます。

最後になりましたが、本年度も大阪市教育委員会指導部ならびに大阪市教育センターの皆様には、本研究会の諸活動にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新 部 長 の あ い さ つ

国 語 部

「生きる力」としての国語力の育成

緋 田 隆 平 (鶴見橋中)

国語部は、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、子どもたちの「自分の思いや考えを深める言語活動の充実」を目ざし研究を進めています。子どもたちが主体的に自分の興味・関心等に応じ他者と協働し、教科横断的な活動をもとにした豊かな言語活動を行い、実際の社会とつながった学びを獲得していく、そんな指導のモデルとなるような授業

を提案していけたらと考えています。また、コロナ禍のもとでは、研究そのものに加えて、その成果をどのように共有していくのかという方法論が大きな課題となってきました。多くの先生方のご協力をいただきながら、課題に立ち向かい、少しでも大阪市の国語科の研究を前に進め、子どもたちによりよい教育が行えるよう頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。

社 会 部

「持続可能な社会の形成者として、社会的な見方・考え方を深める社会科学習」

小野寺 健（新豊崎中）

新学習指導要領では、これまで社会科教育で大切にされてきた「社会的な見方・考え方」を働かせる指導が改めて示されました。有機的な社会科を子どもたちに伝えられる醍醐味を教師がますます実感できるようになるのではないのでしょうか。そして、この醍醐味を実感しつつ、子どもたちの「生きる力」を育む社会科教育の実践を先生方とともに創造したいと考えています。

社会部では、今年度も全市研究発表会に向け、研究

部会を重ねて準備を進めています。

また、令和 7 年には、全国中学校社会科教育研究大会ならびに近畿中学校社会科教育研究大会が大阪で開催されます。この大阪大会で我々の研究成果を全国に発信するとともに、子どもたちのためにより一層指導力を高めることができるよう、日々の研究に取り組んでいきたいと考えています。今後とも積極的なご参加をお願いいたします。

数 学 部

「数学部を素敵な場に」

中 西 啓（佃 中）

新学習指導要領では、これからの社会を生きる生徒たちに必要な資質・能力の三つの柱として「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」を挙げています。これらについては従来の講義型の授業だけで身に付けさせることができないことは明白です。生徒に「主体的、対話的で深い学び」を実現させる授業を創造することは簡単ではありません。そのためには我々教師自身が

主体的に、対話的に、深く学んでいくことが必要で、それには仲間の存在が大きな力となるものだと思います。数学部は、先生方が集まってアイディアを出し合ったり一緒に授業を練りあげたりすることができる素敵な場です。数学科の先生方には、積極的に参加していただきたいと切に願っています。今年一年間の活動が、会員の皆様一人ひとりにとって役立つものになるように活動を進めていきたいと思いますのでご協力を願います。

保健体育部

「保健体育授業における学びの質を高める」

－ 球技（サッカー）の指導方法の研究 －

田 中 城 明（我孫子南中）

1 年の延期となり 57 年ぶりに日本開催となったオリンピック、パラリンピック。様々な意見のある中でしたが、選手や運営に携わる方々の懸命な努力を目の当たりにして、大きな感動を得ることができました。まさに「する・みる・支える・知る」といった生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく良い契機になったと思います。特に 10 代、なかんずく中学生の活躍を見るにつけ、子どもたちの無限の可能性を再認

識できたことは、大きな財産になったことと思います。

今年度は、昨年度実施できなかった球技（サッカー）の指導方法の研究を通じて「保健体育授業における学びの質を高める」をテーマにしていきたいと思います。研究授業の様子を DVD 化し、11 月に全校に配布する予定です。また、新学習指導要領のもと、評価の仕方に苦慮されている先生方のために評価方法の研鑽をし、発信できればと考えております。

技術・家庭部

「いのち輝く未来社会を実現（創造）する技術・家庭科教育」

－ 深い学びへと導く、見方・考え方を働かせた実践 －

村 上 美津子（新東淀中）

急激に感染が拡大する中で 2 学期が始まりました。ブロック研究発表会が中止となり、新しい学習指導要領の開始年に研究集会を開き、互いに教育実践を交流する機会を持てない状況が続いていることは誠に残念でありませんが、各校、コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、様々な創意工夫して技術・家庭科の授業実践に取り組んでいるところです。

生活に密接に結びついた教科であることを再認識し、

ウィズコロナの時代に生きる子どもたちが、「社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化」し、「生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫」する見方・考え方を働かせながら主体的に学習に取り組み、「いのち輝く未来社会を実現（創造）する」資質や能力を育めるよう研究を重ねてまいります。

特別支援教育部

「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」

金 森 茂 生 (矢田西中)

今年度より全面実施となった新学習指導要領では、インクルーシブ教育システムの構築、多様な学びの場、合理的配慮の考え方、すべての学校で特別支援教育を推進することが示されています。

これまでも大阪市においては障がいのある子どもの人権尊重を図り、地域で「共に学び、共に育ち、共に生きる」ことを基本とした教育を推進してきました。学校が学びの拠点として、特別な教育的ニーズのある

子どもと周りの子どもが相互に交流しながら学習を深めていき、人権教育の取組を通じて「障がい理解」を推進するとともに、特別支援教育を全校的な課題として職員全体で取り組んでいけるように、特別支援教育部としても大阪府中学校特別支援教育担任者会と連携しながら教育実践・研究と発信を一層進めていきたいと思っています。

教育課題部

「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」

上 田 明 (茨田北中)

新学習指導要領がスタートした令和3年度。昨年と同様、コロナによって学校はつまづく出発となりました。子どもたちがコロナ世代と呼ばれたり、一人ひとりの夢や希望、目標を失ってしまう状況を作ってはなりません。

厳しい状況ですが、子どもの資質や能力を育成するために、大阪市の教職員が諸問題を解決しながら、相互研鑽を積み重ねなければなりません。教育課題部では、引き続き「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」を研究主題として、学校現場の抱える様々な問題や課題に焦点

を当てて協議を深めたいと考えています。

しかし、予定しておりました講演会は中止となってしまいました。なお、コリアNGOセンター事務局のご協力で大きな課題の不登校問題や、人権教育の視点から子どもたちの背景に迫る支援の必要性、急増する若手教員への子ども理解について、資料をいただきます。

担任として、また生活指導面、部活動顧問としても、子どもや家庭理解に大変役立つものと考えます。ぜひ、ご活用ください。

新 ブ ロ ッ ク 委 員 長 の あ い さ つ

＝第2ブロック＝

「つながりを生かした研究活動へ」

委員長 井 寄 芳 春 (横堤中)

コロナ禍のもと、ブロック研究発表会が中止となるとともに、全市研に向けての準備についても様々な制約を受けております。このような困難な状況の中でも、粘り強く、真摯に研究活動を推進しておられる専門委員の皆様へ、深く敬意を表したいと思います。

第2教育ブロックでは、「主体的で、協働的な学び手を育む教育の創造—『つながり』を生かした学びの場を通して—」を研究テーマとして掲げております。

学校の近接性、教員間のネットワークを生かしながら、研究活動の裾野を広げてまいりたいと考えます。

逆境の中での研究活動だからこそ、教員自身の主体性や協働性が問われています。新学習指導要領の全面実施、GIGAスクール構想の進展等をふまえながら、会員の皆様とともに、今できることを、着実に進めてまいりたいと存じます。今後とも、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＝第4ブロック＝

「新しいチャレンジを」

委員長 畠 野 耕 二 (阿倍野中)

平素より、大阪市立中学校教育研究会の研究活動に対してご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度も各校においてはコロナ感染症対策のため諸行事が軒並み延期・中止となる中、「第4教育ブロック研究発表会」も中止となり残念でなりません。しかし、人が集まり議論する研究発表会や研究会は教育研究会活動の柱でありますので、この状況で萎縮するのではなく、これを機に新しいチャレンジを行ってい

ねばならないものと考えております。

さて、専門委員の皆様が10月13日(木)に開催される「全市研究発表会」に向け、各教科・領域での様々な状況に応じた準備を行っていただいているところでありますので、多くの皆様が集う発表と交流の場になりますようお願いしております。

また、皆様のご健康と一日も早いコロナ禍の終息も願っております。

本部だより

令和 3 年度 大阪市立中学校教育研究会全体会

5月26日(水)に紙面上で実施しました。

研究主題

「よりよい未来社会の創り手となる資質・能力の育成」

～学びの質を高めるカリキュラム・マネジメントを通して～

全市研究発表会 10月13日(水)開催

《事業の種類》

- ① 学校を基盤としたカリキュラム・マネジメントの推進
- ② 研究部・ブロック委員会の研究活動の深化・充実
- ③ 全市研究発表会の推進と研究・研修活動の充実
- ④ 「中教研会報」・「研究の歩み」の内容の充実、研究活動の動向や成果の伝達
- ⑤ 教育委員会・教育センター・校長会・小学校教育研究会等、関係団体との連携

《当面の課題》

- ① 新学習指導要領に基づく教育課程のあり方についての研究
- ② 学校再開後の教育課程の編成と基礎学力の充実
- ③ 資質・能力の向上を促す、指導・評価方法の工夫・改善についての研究
- ④ ICTを効果的に活用した教育実践の研究
- ⑤ いじめ・不登校・問題行動の研究
- ⑥ 各研究部・各ブロック・各学校における研究体制の整備
- ⑦ 小中が連携、一貫した教育についての研究
- ⑧ 各種研修・研究会への参加を通しての教職員の相互研鑽・職能開発
- ⑨ その他教育上の諸問題の研究

評議員会報告

第1回 5月26日(水)

於：横堤中学校

第1回 評議員会

感染拡大の状況もあり中止

第2回 評議員会

(6月10日)を令和3年度第1回目の評議員会を兼ねて実施

第2回 6月10日(木)

16時～ 於：田辺中学校(teamsオンライン)

- (1) 令和3年度 研究活動について
 - ・全市研究発表会の持ち方について
 - ・各ブロックの研究について
 - ・中教研会報・研究集録「研究の歩み」の発行について
 - ・研修会について
- (2) 令和3年度 研究テーマについて
- (3) 令和2年度 会計報告
- (4) 令和3年度 予算案について
- (5) そ の 他
 - ① 令和3年度 役員・専門委員一覧表について
 - ② 部門別・ブロック別 研究主題・事業計画について
 - ③ 令和3年度～5年度 全国・近畿大会予定表について

第3回 7月5日(月)

評 議 員 会：16時～ 大阪市教育センター 7階研修室4

会計説明会：16時～ 大阪市教育センター 6階研修室3

〈評 議 員 会〉

- (1) 全市研究発表会について
- (2) その他

〈会計説明会〉

- (1) 令和3年度 研究会会計予算について
- (2) 部門別の会計予算書、事業計画書について
- (3) 帳簿、書類等の配付について
- (4) その他

第4回 8月30日(月)

16時～ 於：田辺中学校(teamsオンライン)

- (1) 全市研究発表会【10月13日(水)】について
- (2) ブロック研究発表会について
- (3) 研修計画について
 - ① 全体研修会【11月11日(木)】
15時30分～17時
 - ② 評議員研修会【1月28日(金)】
- (4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成について
- (5) 小中一貫教育委員会の開催について
- (6) そ の 他
 - ① 会計事務連絡
 - ② ホームページについて

令和 3 年度 部門別研究主題

No.	部 門	研 究 主 題
1	国 語	「『生きる力』としての国語力の育成」 －自分の思いや考えを深める言語活動の充実－
2	社 会	「持続可能な社会の形成者として、社会的な見方・考え方を深める社会科学習」 (学力向上《授業デザインやカリキュラム構築のための研究》)
3	数 学	「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」
4	理 科	「主体的な対話を通し、未来を担う科学的な思考・表現力を育む理科教育」
5	音 楽	「未来を切り拓く、豊かな感性を育む音楽教育の創造」 －主体的・対話的で深い学びの実現に向けて－
6	美 術	「美術の本質に迫る学習をめざして」 －感性や造形感覚を高めるために－
7	保 健 体 育	「保健体育科授業における学びの質を高める」 －球技（サッカー）の指導方法の研究－
8	技術・家庭	「いのち輝く未来社会を実現（創造）する技術・家庭科教育」 －深い学びへと導く、見方・考え方を働かせた実践－
9	英 語	「英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」 －5領域のコミュニケーション能力を総合的に養う－
10	道 徳	「多面的・多角的な視点で考え議論する道德教育の創造」 －ペアワークを取り入れた授業づくりを進める－
11	特 別 活 動	「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」
12	生 活 指 導	「生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」
13	特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」
14	保 健 養 護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」
15	情 報 技 術	「多様化する情報を活用する力を身につける」
16	教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』をはぐくむ教育メディアの研究」 －学校図書館、放送・視聴覚教育を通して－
17	教 育 課 題	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」

令和 3 年度 役員・評議員

令和 3 年度、役員・評議員が下記のとおり決まりました。（敬称 略）

【大阪市教育委員会】

教育活動支援担当	総括指導主事	坂田浩之
大阪市教育センター	指導主事	細谷典史

【本部役員】

会長	藤本睦子（田辺）
副会長	坂本政隆（緑）
同	松井信次（上町）
同	上田健二（大池）
書記	大政和彦（東淀）
会計	松田光平（大正北）
会計監査	高橋章二（天王寺）
同	小西絵美（横堤）

【本部役割分担一覧】

● 全市研究発表会、 ブロック研究発表会の調整 等	（坂本）
● 企画立案、研究の歩み、会報の編集、 HP担当 等	（松井）
● 研修計画、教育課程（言語活動）、 小中一貫教育担当 等	（上田）
● 名簿作成、議事録作成、 案内状発送、報告書作成 等	（大政）
● 会計、予算、事業報告書作成、 決算報告書作成 等	（松田）
● 会計監査、会場準備、資料配布 等	（高橋・小西）

【部長】

1	国語	緋田隆平（鶴見橋）
2	社会	小野寺健（新豊崎）
3	数学	中西啓（佃）
4	理科	渡邊哲朗（茨田）
5	音楽	有田伸一朗（大淀）
6	美術	石川文子（東陽）
7	保健体育	田中城明（我孫子南）
8	技術・家庭	村上美津子（新東淀）
9	英語	井戸本崇志（喜連）
10	道徳	田中紹亮（港南）
11	特別活動	進藤文代（白鷺）
12	生活指導	屋島豊市（十三）
13	特別支援教育	金森茂生（矢田西）
14	保健養護	吉田直子（住之江）
15	情報技術	近藤正宏（本庄）
16	教育メディア	田村敬子（松虫）
17	教育課題	上田明（茨田北）

【ブロック委員長・副委員長】

第1ブロック委員長	土屋雅（大桐）
第1ブロック副委員長	吉本博志（宮原）
第2ブロック委員長	井寄芳春（横堤）
第2ブロック副委員長	辰巳千佳子（旭陽）
第3ブロック委員長	鍋谷賀都緒（難波）
第3ブロック副委員長	二井敦子（東我孫子）
第4ブロック委員長	畠野耕二（阿倍野）
第4ブロック副委員長	横田勝一郎（東住吉）

令和 3 年度 教育研究会予算

（令和 3 年 7 月 5 日 現在）

1. 歳入

（単位：円）

項目	令和 3 年度 予算額
会費	2,000,000（見込み）
補助金	※200,000
繰越金	3,043,487
預金利息	0
合計	5,243,487

2. 歳出

（単位：円）

項目	令和 3 年度 予算額
本部事業費	3,172,979
研究部事業費	1,590,508
ブロック事業費	480,000
合計	5,243,487

※日本教育公務員弘済会研究助成金

令 和 3 年 度 研 究 発 表 会

10 月 13 日 (水) 15:00 ~ 17:00

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

部 門	研 究 主 題	内 容	会 場
1. 国 語	『「生きる力」としての 国語力の育成』 － 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 －	- 公 開 授 業（録画配信による） 「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」 大 淀 中 中 川 有紀子 - 研 究 協 議（各中学校ごと） - 指 導 助 言（動画配信による） 大阪市教育センター 総括指導主事 石 田 かおり 様	各中学校
2. 社 会	「持続可能な社会の形成者として、 社会的な見方・考え方を 深める社会科学習」 (学力向上《授業デザインや カリキュラム構築のための研究》)	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 研 究 発 表 歌 島 中 藤 川 沙 貴 - 講 演 龍谷大学法学部 准教授 中 本 和 彦 様	オンラインによる配信を各校で視聴してください。 15:00開始 各校Teamsでの視聴（IDは1つ）をお願いします。
3. 数 学	「未来を創造する数学の 主体的・対話的で深い 学びをめざして」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 研 究 発 表 ① 授業研究報告（数学部） (1 班) 天 満 中 大 西 春 菜 (2 班) 日本橋中 山 本 佳 孝 (3 班) 天王寺中 中 村 颯 志 ② オンデマンド・ビブリオバトル（教育メディア部） - 講 演 「メディアを活用した『数学的活動』と『評価』のありかた」 和歌山大学大学院 教授 豊 田 充 崇 様 - 講 評	オンデマンドで実施 (詳細は別途お知らせします)
4. 理 科	「主体的な対話を通し、 未来を担う科学的な思考・表現力を育む理科教育」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 - 公 開 授 業 「活きている地球 2 章 ゆれる大地」 難 波 中 松 山 裕 亮 - 研 究 協 議 本日の公開授業について 難 波 中 松 山 裕 亮 - 報 告 事 項 - あ い さ つ（紙面） 大阪市教育委員会	各ブロック 2 校
5. 音 楽	「未来を切り拓く、 豊かな感性を育む 音楽教育の創造」 － 主体的・対話的で深い 学びの実現に向けて－	「がんばる先生支援事業」中 間 発 表 - 公 開 授 業（ビデオ撮影の視聴） 2 年生鑑賞 【題材名】「義太夫節の旋律の特徴をつかみながら、文楽の三業一体の魅力に迫ろう」 ～「日本伝統音楽カリキュラムと授業実践」から伝統音楽の鑑賞授業について考える～ 授業者 桜 宮 中 川 西 孝 亮 - 質 疑 応 答 - 指 導 講 評 講師 大阪教育大学 特任教授 田 中 龍 三 様 - 研 究 発 表 ◇ 歌唱研究班 南港南中 沖 正 樹 阿倍野中 瀧 口 弘 美 玉 津 中 吉 田 季陽子 新 巽 中 牛 丸 弦 太 巽 中 木 村 嘉 明 - 研 究 協 議 - 指 導 助 言 大阪市教育センター 総括指導主事 出 口 み か 様	桜 宮 中

6. 美術	「美術科の本質に迫る 学習をめざして」 ～感性や造形感覚を 高めるために～」	・研究発表 (1)「私との対話 ～表すことで見えてくる自分自身～」 天下茶屋中 石 田 祥 子 (2)「西中に残す思い出のモニュメント ～生きる造形の働き～」 西 中 朝 倉 大 揮 (3)「美術科における I C T の活用について」 南 中 兼 廣 麻 衣 ・研究協議	東 中
8. 技術・家庭	「いのち輝く未来社会を 実現（創造）する 技術・家庭科教育」 ～深い学びへと導く、見方・ 考え方を働かせた実践～」	・研究発表 ・技術分野 D 情報の技術 「プログラミング能力と情報リテラシーの醸成」 市岡東中 柴 川 拓 也 ・実践紹介 ・家庭分野 新学習指導要領に沿った授業の取組紹介（資料展示） ・質疑応答 ・研究協議 ・指導助言 大阪市教育委員会	新東淀中
9. 英語	「英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を 育成する」 ー 5 領域のコミュニケーション 能力を総合的に養うー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 大阪教育大学 教授 加賀田 哲 也 様による「新指導要領に則した授業と評価の ありかたについて」という題の講演を録画したものを配信するので、各校で視聴 してください。	各中学校
10. 道徳	「多面的・多角的な視点で、 考え議論する道徳教育の創造」 ー ペアワークを取り入れた 授業づくりを進めるー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・授業研究 教材名「きいちゃん」（日文 2 年生－35） 新北島中 岡 田 芳 和 ・研究協議 触発者の視点から道徳的価値観を深める発問を考える。 ・指導助言 大阪市教育センター教育指導員 宮 脇 賢 治 様	新北島中
11. 特別活動	「生徒一人ひとりが主体的に 生きる特別活動の創造」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・研究発表 1. 生徒会活動 学校活性化事業「がんばる先生支援」グループ B 研究発表 「第65回全国特別活動研究協議大会 第13回関東地区特別活動研究協議大会埼玉大会報告」 瓜破西中 森 田 光 「令和 2 年度 大阪市スマホサミット報告」 白鷺中 進 藤 文 代 校長 2. キャリア教育 講演 「大阪企業家ミュージアムの活用」 ～企業家の事績から学ぶキャリア教育～ 大阪商工会議所 人材開発部 大阪企業家ミュージアム 廣 田 雅 美 様 時 程 1. あ い さ つ 2. 研 究 主 題 3. キャリア教育ご講演 4. 生徒会活動実践報告発表 5. 意 見 交 流 6. 指 導 助 言	オンライン による配 信を各校 で視聴し てくださ い。 15:00 開始 各校Teams での視聴 (IDは1つ) でお願い します。

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

※新型コロナウイルス感染症について、日々状況が変化しているため、今後、変更が生じる場合があります。その場合は、各教科・領域からお知らせいたします。

13. 特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」	。講 演 「思春期の子どもの心のケア ― 発達障害のある子が悩むこと ―」 講 師 大阪医科薬科大学病院小児科 金 泰 子 様	都島中から各中学校に配信 (詳細は別途お知らせします)
14. 保健養護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」	。第 2 教育ブロック (a 北区・福島区・都島区) 共同研究 「生徒保健委員会活動の活性化をめざして」 豊 崎 中 湯 峯 麻 衣 弘 済 中 分 校 白 石 梨 加 下 福 島 中 山 中 愛 子 。研 究 協 議 。指 導 講 評 大阪市教育委員会 指導主事 中 井 美 紀 様	大阪市教育センター講 堂 15:00 開始 保健養護部員のみ参加
15. 情報技術	「多様化する情報を活用する力を身につける」	新聞教育部門、情報教育部門、統計教育部門ともに各校にてコロナ禍によって計画が遅延している研究を進捗させる。 (非オープンです。)	担 当 者 各中学校
16. 教育メディア	「『生きる力』と『感動する心』をはぐくむ教育メディアの研究」 ～学校図書館、放送・視聴覚教育を通して～	。研 究 発 表 ① 授業研究報告〔数学部〕 ② オンデマンド・ビブリオバトル〔教育メディア部〕 。講 演 「メディアを活用した『数学的活動』と『評価』のあり方」 講 師 和歌山大学大学院 教授 豊 田 充 崇 様 。講 評	オンデマンドで実施 (詳細は別途お知らせします)
17. 教育課題	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」	講演会は中止 コリア N G O センターより資料提供をいただきます。 各校へ配付予定しておりますので、ご活用ください。	各中学校

10 月 13 日の全市研究発表会以外の日実施された又は実施される部門

11 月中旬頃

7. 保健体育	「保健体育科授業における学びの質を高める」 ー 球技(サッカー)の指導方法の研究ー	体育実技のサッカーにおける指導方法の主体的・対話的で深い学びにつなげる指導方法の研究をテーマに授業を行い、その様子を DVD 化する。 11 月中旬に DVD を各校に送り、保健体育科教員に視聴・研鑽をしてもらう。その際アンケートを実施し意見交流を行う。	今 市 中
------------	--	--	-------

10 月 20 日 15:00 開始

12. 生活指導	「生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」	。講 演 演題 「自殺に傾いた人への支援」 ～ 傾聴の技法と危機介入 ～ 講 師 NPO 法人 国際ビフレンダーズ 理事長 北 條 達 人 様 。研 究 発 表 1 「大阪市生活指導ワークショップ」 ～生活指導の知識、スキルアップをめざして～ 新豊崎中 山 中 秀 樹 。質 疑 応 答 。指 導 助 言 。閉会あいさつ 大阪市教育委員会	大阪市教育センター 11 月 29 日(月) 15:00 開始
-------------	--	---	---------------------------------------